ほっと

勤続3年　相談支援専門員
江原　久美子

私たちの日常にはどこにでも「相談」があります。
「相談」は市町村、障害福祉サービス提供事業所や病院、学校等でも行われていますが「ほっと」が行う相談は障害児（者）やその家族にとって、悩みや困り事の相談はもちろん、福祉サービスやサポートに繋がるための相談を行っています。
例えば、生活面で必要な情報提供やアドバイス、そして相談者にとって必要な障害福祉サービスの利用につながる支援や、関連機関との連絡や調整等を行います。
日々、業務の中でどうしたら相談者に寄り添ったご支援ができるか、その方にとって最善の方法は何かを考えています。
相談者にとって前向きになり、輝ける「場所」をご紹介できた時や、地域の中でもご本人が望む生活を送り、充実した日々を過ごされている姿を見ると相談員としてもこの上ない喜びと関係事業所への感謝の気持ちが溢れます。
良いことばかりではない世の中ですが、「ほっと」全員で力を合わせながら、少しずつ相談者の方々と共に進んでいけたらいいなと思っております。
これからも相談者、関係事業所とのご縁に感謝しながら、
相談者の伴走者として日々精進していきたいと思います。



第二陽光園

勤続12年　主任　生活支援員
千葉　克真

今年の夏は全国的に悪天候や台風が多い印象でした。館林邑楽圏域は雨は降ることはありましたが例年に比べると涼しく過ごしやすい夏だったと思います。ご家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。第二陽光園利用者の皆さんは大きく体調を崩すことなく日々生活を送っております。第二陽光園は男性１５名、女性１７名の利用者さんが暮らしています。昨年度より班活動を終了し、日中は第二陽光園内外で歩行運動や散歩などで体力低下の防止や維持への取り組み、折り紙やお絵描き、プットイン活動など利用者さん一人ひとりに合わせた日中活動を提供しています。また、キッチンカーを招いてのお楽しみ会や夕涼み会、毎月のお楽しみ会といった利用者さんの日々の生活に彩を添えられるような行事を企画・開催しています。おいしいものを食べた時の表情や新しい日中活動に挑戦し見事達成できた時の喜びを利用者さんと一緒に職員も共有させて頂いております。今後も利用者さんが第二陽光園での生活で笑顔や喜ぶ姿が見られるように職員一丸となって一層支援に励みたいと思います。

